



まなびやまと



No.30

平成29(2017)年3月
大和市教育委員会

英語の楽しさを広げる 『English Day』 大和市教育委員会・指導室

8月5日(金) 林間小学校の体育館において『English Day』が開催されました。グローバル化が進み、小学校でも国際共通語である英語



の学習が行われていいます。そこで、今年度から市内の小学5、6年生を対象とし、授業で学んだ外国語学習を生かせる場をつくること、子どもたち

の意欲を向上させていくことを目的として教育委員会指導室が主催しました。当日は午前の部に41人、午後の部に35人の参加がありました。講師は市内小中学校の外国語(英語)指導助手が務め、大学生がボランティアとして12名参加してくれました。

体育館の中には万国旗や外国のポスターなどが貼られ、活動の雰囲気盛り上げます。開会直後のグループにおける自己紹介では、初対面のため、緊

張気味でしたが、ゲームで体を動かしたり、ボランティアの大学生から声をかけてもらったりしていく中で、徐々に自分からコミュニケーションをとれるようになっていきました。

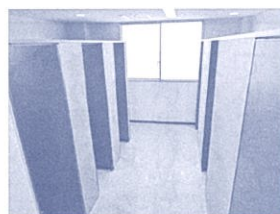


ゲームの説明は全て英語で行われ、子どもたちは講師のジェスチャーを交えた言葉を集中して聞き取るうとしていました。聞き取りづらかった時も、グループで教え合ったり、考え合ったり、もう一度聞きに行ったりと自分たちで解決することができました。講師から「グッジョブ!」と褒められると「やった、通じたよ」と皆で喜んでいました。参加した子どもは「難しい部分もあったけど、その分できた時嬉しかった」「英語を聞いているうちに、どんどんわかるようになっていった」と話してくれました。

学習したことが活用でき、自分の力になっていることを実感できると、学ぶことへの意欲がより高まります。今後子どもたちが学ぶことの楽しさを実感できる環境を作っていきます。

学校施設の改善へ 一部男子トイレを個室化 大和市立文ヶ岡小学校

大和市では、市立小中学校のトイレの老朽化に伴い、改修工事を行っています。改修に伴って、一部の男子トイレを個室化していきます。学校で排便をすることが恥ずかしい、からかわれるので嫌だという子どもたちの意見もあることから、落ち着いて安心して利用することを目的としています。今年度は小学校4校、中学校1校において一部の男子トイレを個室へと改修しました。



今年度改修工事を行った文ヶ岡小学校では、一階の男子トイレを個室化し、利用が始まっています。中に入ると女子トイレと同じように、部屋全体に個室が並びます。それぞれの個室の中には洋式の便器があり、男子用ならではの使用の注意が貼られています。

落ち着いて排便できるように、離れた教室から用を足しに来る子どももいるようです。

来年度以降もトイレの改修を行い、学校生活を快適に、安心して送れるよう、環境の整備を進めていきます。



《防災・防犯教育》

安全に向け、つながりを強化

市立小中学校一斉引取り訓練

大和市立大和中学校

6月30日(木) 大和市立の全小中学校において、一斉引取り訓練が実施されました。今まで学校、又は地域毎に行われていましたが、市立の学校が一斉に行う訓練は初めてです。全校で取り組むことで、より実際に近い想定のもと保護者に参加してもらうことと、教職員、児童生徒の防災に対する意識の向上を図ることを目的としています。

大和市では、震度5弱以上の大地震が発生した場合と、東海地震に関する情報や地震警戒宣言が発令された場合に、保護者または保護者の代理人に、児童生徒を引取りに来てもらうことになっています。今回は大規模な地震が起こった場合を想定して行われました。訓練については保護者へ事前に文書で通知するとともに、当日はPMSメールを使って伝えられました。



生徒数の多い大和中学校では、迅速に引渡しを行う必要があります。また、学区に複数の小学校があるため、時間がかかりすぎてしまうと、小学校での引取り

にも影響が出てしまいます。そこで来校した保護者が混乱なく移動できるように、順路を設定し、各階段には上り専用、下り専用がわかるように案内表示を掲示するなどの準備を行いました。

校長先生が本部に集まった教職員に「もしもの時に混乱が無いよう、連携を図り訓練を行いましょう」と話し、訓練が始まりました。



玄関から入った保護者は順路に沿って進み、それぞれの教室で生徒を引取りました。「次は弟の小学校に行きます。人が大勢いましたがスムーズに引取りができました」と迎えに来た保護者の方は話していました。



大和中学校の学区にある大野原小学校では、保護者と共に中学生の姿が多く見られました。引取りを終えた家族が手をつないで帰っていきます。今後も小中学校の連携を強め、災害時に家族の手が離れないよう、訓練を行っています。

自分たちの身を守るために

不審者対策訓練

大和市立西鶴間小学校

5月23日(月) 西鶴間小学校において、不審者が校内に侵入した際の全校訓練が行われました。今まで教職員を対象とした訓練は各学校で行われてきましたが、子どもたちを対象とした訓練は市内で初めてとなります。校内に不審者が侵入した時、子どもたちが落ち着いて行動できることを目的としました。

今回の想定は、授業中に校内へ不審者が入ってきたというものです。子どもたちには訓練の内容を伝え、教室内での対応方法について学習してから訓練に臨みました。

2時間目の途中に訓練が始まり、教職員が子どもたちに指示を出すと速やかに行動を始めました。不審者との接触を避けるため、棒で扉を固定したり、机を集めてバリケードを作ったり



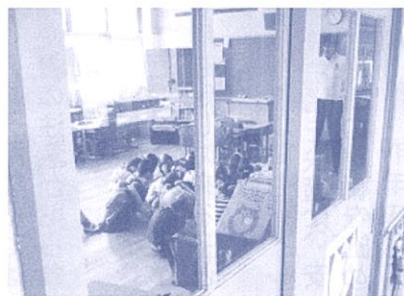
して教室への侵入を防ぎます。その後、廊下から見えづらい位置に集まり、姿勢

を低くして待機しました。廊下は

静まり返り、今まで聞こえていた子どもたちの

声がなくなりました。不審者を刺

激しないように、児童の気配を消します。全校放送が流れ、訓練の終わりを告げると、各教室から一斉に安堵の声が聞こえてきました。



訓練後、6年生は学級で反省会を行いました。「バリケードが低く入られると思う」「不審者と出会ってしまったらどうすればいいのか」と訓練についての意見を言つと、「そんな時、どうすればいいと思いますか」と教員が全員に問いかけました。退避行動の練習だけではなく、そこから自分たちのできることを考える機会となったようです。

今回の訓練について校長先生は「教職員が不審者の侵入を防ぐと共に、子どもたちにも危険を感じる、気付くことができるようになってほしい」と話していました。

子どもたちを守るため、また子どもたちが自分の命を自分で守る力を育てるため、様々な場面を想定した訓練が行われています。

生徒主体で、より良い学校に

生徒総会

大和市立引地台中学校

6月10日(金) 引地台中学校の体育館において生徒総会が行われ、一年間の学校の運営について全校生徒で話し合いました。

昨年度の反省と今年度の生徒会活動の方針や具体的な活動内容を、各委員会の委員長が説明しました。議長に選ばれた3年生の代表生徒が「質問、意見がある場合はクラスのプラカードを挙げ、会場中央にて発言をしてください」と、議事の進め方を伝え、最後に「みなさんの意見を聞く、大切な機会です。公正な会になるようご協力をお願いします」と、総会が参加者全員に対し公平、公正なものであることを示しました。昨年度の生徒会活動の報告・反省に対し、プラカードが挙がり、「反省省だけではなく、どのように考えているのか改善点を知りたい」という意見が2年生から出されると、壇上にいる生徒会役員はすぐにその説明を行います。議案に



対して、議長が拍手をもっての可決を求めると、会場全体から拍手が起りました。

その他にも「あいさつ100とはどんな内容なのか」「外のバスケット



トゴールを使うようにしてもらいたい」「昼の放送で流す曲の曲名や歌手も紹介してもらいたい」など、普段の

学校生活で感じていること、要望が挙げられました。「今年度の予算の繰越金を熊本などの被災地に寄付してはどうか」という意見が出されると、会場の生徒から「それはいいかもしれない」という声が上がりました。

議長を務めた2人の代表生徒は「生徒総会は引地台中学校を知ってもらう良い機会だと思います」「みんながいろいろな考えを持って学校を運営していくことができれば、より良い学校になると思っています」と話してくれました。

生徒総会は生徒会の運営について共通理解をすると共に、生徒それぞれがどのような考えを持って、学校生活を送っているのか知り合う機会にもなっています。

自然を感じ、守る心を育てる

引地川クリーン作戦

大和市立下福田小学校

10月13日(木) 下福田小学校5年生の総合的な学習の時間において「引地川クリーン作戦」が行われました。これは引地川・下福田子ども水辺協議会の協力のもと、清掃活動を通し引地川の環境について学んでいくものです。今回は、清掃活動の前に、環境保全について五味さん(引地川水とみどりの会)、引地川の生き物について飯塚さん(ラボ教育センター)をそれぞれ招いて話を聞きました。

60年前の引地川の写真がスクリーンに映し出されると「細い、これだけしか幅がなかったの」「周りにあまり家がない」など、今の風景と大きく違っていることに子どもたちは驚いていました。マンションが建ち



始め、人口が増えるにつれ川にゴミが捨てられるようになり、それによって川がどんどん汚れていき川に住む生き物たちが姿を消して

いったという引地川の歴史についてメモを取りながら真剣に聞いていました。引地川が日本で初めて三面護岸を多自然型護岸にした川であることを知ると「大和市にも日本で初めてのことがあったんだね」と多くの子どもたちが感心していました。

話を聞いた後、全員で引地川の清掃活動を行いました。子どもたちは「早く川に入りたい」



「きれいにしたい」と張り切っていました。初めは慎重に水に入っていた子どもも、慣れてくると、草をかき分け積極的にゴミを拾っていました。清掃の感想を聞くと「入ってみないと、こんなにゴミが落ちているとわからなかった」「川の中を歩くのはスリルがあつて、楽しくゴミ拾いできた」と笑顔で話してくれました。学習を終え、五味さんは「大人になっても引地川やふるさとを大切に思っていてくれると嬉しい。みんなが自然を守ってほしい」と話していました。実際に自然に触れ、ふるさとを感じることで、子どもたちに自然を大切に守ってほしいという気持ちを持つてほしいと思います。

おらが学校
創立60年目を迎える

大和市立草柳小学校

草柳小学校の前身である、大和町立南大和小学校は、二度の火災に遭い、ほとんどの校舎が焼失してしまいました。そのため、昭和32年4月に



「なかよし山」お別れセレモニーの様子

大和町立草柳小学校が創立され、草柳小学校の歴史を歩み始めました。今年度創立60年目を迎え、現在492名の児童が学んでいます。草柳小学校のシンボルは「なかよし山」。昭和41年から44年に、PTAや地域のの方々の協力によって造られた築山です。そこにはいつも、子どもたちの笑顔があふれ、子どもたちの大好きな場所になっていました。しかし、老朽化が進み、安全が確保できなくなつたため、3年前から使用禁止となり、ついに今年度夏に取り

壊されました。学校では、児童会を中心にお別れセレモニーを行いました。

7月1日のこの日は「なかよし山」の前に集まり、別れを惜しまれました。「なかよし山」があった場所は更地となり、なんと寂しくなつてしまいました。1年生が遊ぶのにちょうどよい広さで、円盤を投げてドッチビーをする姿が見られます。

「なかよし山」に象徴されるように、本校は地域・PTAの方々に支えられ育まれてきた学校です。現在も多くのボランティアの方々に支えられています。読み聞かせボランティア「たからばこ」は毎週水曜日、朝の時間の各クラスでの読み聞かせと、年一回お楽しみ会を開催していただきます。また、学校美化ボランティア「びかぼら」は、毎月校庭の花壇の手入れをしてくださり、草柳小学校のフェンス周りはいつも花でいっぱいです。そして、「おかえりなさい運動の会」は、現在50人近くの方々が参加し、児童の下校時に「おかえり」と声をかけながら見守りをつけてくださっています。子どもたちは帰りがけに会の人たちと立ち話をしたり、ハイタッチをしたりするのを楽しみにしています。その他、池を掃除して下さる方、朝早くから校庭の落ち葉を掃いて下さる方など、草柳小学校は、多くの方々に支えられ創立60年目を迎えることができました。

踊りを通して歴史に加わる
運動会阿波踊り
大和市立深見小学校

9月14日(水) 深見小学校の3年生と4年生は体操着に着替え、体育館に集合しました。深見小学校では毎年運動会で2学年合同の阿波踊りを披露しています。この日は、地域に住む細野さんと鈴木さんから基本となる足運びを教えてもらいました。



はじめに細野さんから阿波踊りについて説明を聞きました。大和市には多くの踊りの「連(グループ)」があること、深見小学校では自分たちが生まれる前から運動会で踊られていることを聞き、自分たちもその歴史に加わることにやる気が高まったようです。最初に4年生が手本を見せました。鉦(かね)の合図に乗って元気いっぱい「ア、ヤットサー、ア、ヤットヤット!」と掛け声上がり、全員が見事に踊り始めました。続いて、3年生が足の運び方を学びました。目の前で4年生が踊ってくれたことで、動きのイメージがつかめ、すぐに覚えることができたようです。最後に全員で鉦の音に合わせ、今回習った動きを振り返りました。

4年生は「掛け声を出したら、



昨年のことを思い出して懐かしかった」「自然と足や腕が動いた。びっくりした」と話していました。3年生は「4年生の演技がすごかった。自分

分たちも頑張りたい」「一緒に踊るので、いい演技をみんなに見てもらいたい」と、これからの練習に向けての意気込みを話していました。また、休憩時間には鉦の打ち方や連について質問する子どもたちの姿が見られました。

大和の阿波踊りは40年、深見小学校では10年以上続いており、深見小学校出身の保護者や教職員の中には祭りで踊った経験のある人もいます。今回指導していただいた細野さんと鈴木さんは、「今まで続けてきたことが地域の財産になっている。これからも続けていきたいですね」と話していました。深見小学校の子どもたちにとつては、阿波踊りの鉦の音や掛け声がかかるさとのつながりになります。

「まなび、やまこ」は、開かれた教育行政の一環として、保護者、市民、教職員向けに、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。お読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。
(お問い合わせ) 大和市教育委員会
指導室 2605210 教育研究所 2605213